

科目名	医療コミュニケーション学 [科目番号：41718120]		
タ ャ ム	S1	単 位 数	2単位
曜日・授業時間帯	火曜3、4時限		
場 所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	木内貴弘、奥原剛 他		
授 業 の 目 的	<p>本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。医療コミュニケーション学（ヘルスコミュニケーション学）とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、保健医療専門職間、保健医療専門職と患者・市民間、患者・市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。本講義では、保健医療・公衆衛生分野における専門職として効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの基本的な理論、(2)コミュニケーションの具体的な方略やスキル、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱う。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p>		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 各回1テーマの講義を行う。 テーマに基づいた追加資料の配布やグループワークを行うことがある。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4月9日3限	医療コミュニケーション学概論	木内貴弘
	4月9日4限	ヘルスコミュニケーションの研究 コミュニケーションの分析方法と実証研究	奥原剛
	4月16日3限	患者・市民の教育 賢い患者・市民を育てる取り組み	山口育子 (COML)
	4月16日4限	グループ・組織のコミュニケーション 多職種連携とリーダーシップ	石川ひろの (帝京大学)
	4月23日3限	政策形成とアドボカシーのコミュニケーション アドボカシーの概念と人材育成	神馬征峰 (国際地域保健学)
	4月23日4限	ヘルスコミュニケーションの方略① 集団の行動変容を促すコミュニケーション	石川善樹 (キャンパスキャン)
	5月7日3限	ヘルスコミュニケーションの方略② エンターテイメント・エデュケーション	加藤美生 (帝京大学)
	5月7日4限	ヘルスコミュニケーションの方略③ 医療のビジュアルコミュニケーション	原木万紀子 (立命館大学)
	5月14日3限	メディアコミュニケーション①: テレビ	市川衛 (NHK)
	5月14日4限	メディアコミュニケーション②: 新聞	本田麻由美 (読売新聞)
	5月21日3限	ヘルスコミュニケーションの方略④ 外国人患者とのコミュニケーション	大野直子 (順天堂大学)
	5月21日4限	ヘルスコミュニケーションの方略⑤ 個人の行動変容を促すコミュニケーション	石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター)
	5月28日3限	メディアコミュニケーション③: インターネット	中山和弘 (聖路加国際大学)
	5月28日4限	まとめ: グループ討論と総合討論	木内貴弘、奥原剛、 上野治香
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> 石川ひろの、奥原剛、他著. 人間関係論 (系統看護学講座 基礎分野). 医学書院. 2018 藤崎和彦、橋本英樹 著. 医療コミュニケーション研究会 編. 医療コミュニケーション—実証研究への多面的アプローチ. 篠原出版新社. 2010 Debra L. Roter & Judith A. Hall 著. 石川ひろの、武田裕子 訳. 患者と医師のコミュニケーション—より良い関係作りの科学的根拠. 篠原出版新社. 2007 Athena du Pre. Communicating About Health: Current Issues and Perspectives. 5th ed. Oxford University Press. 2016 Peter G. Northouse & Laurel L. Northouse 著. 萩原明人 訳. ヘルス・コミュニケーション 改訂版. 九州大学出版会. 2010 		
成績評価の方法	講義への出席 (30%)、レポート (70%) による。		
他の授業との関連	医療コミュニケーション学演習の前に受講することが望ましい。健康社会学、健康教育学、等と関連する。		